

# 2022（令和4）年度 認知症看護認定看護師教育課程

（特定行為を組み込んでいる教育課程）

## 募 集 要 項



Brush up Program  
for professional

獨協医科大学SDセンター

---

## I. 教育理念

急性期病院から地域までのあらゆる場において、認知症の人に対し、高い臨床推論力と病態判断力に基づいて、認知症の病期に応じた質の高い生活の継続に必要な支援を、多職種と協働しながら実践ができる認定看護師を育成し、保健医療福祉に貢献する。

## II. 目的

1. 認知症看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する能力を育成する。
2. 認知症看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. 認知症看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. 認知症看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

## III. 期待される能力

1. 高い臨床推論力と病態判断力に基づいて、認知機能障害及び身体疾患の合併による影響をアセスメントし、治療的援助を含む健康管理を行うことができる。
2. 認知症の発症からエンドオブライフまで、住み慣れた地域あるいは在宅で生活を継続できるよう、症状マネジメント及び生活機能の評価と支援、家族支援を行うことができる。
3. 認知症の人がもてる力を発揮できるよう生活・療養環境を調整することができる。
4. 認知症の人の権利を擁護し、あらゆる場において認知症の人の意思が適切に反映されるよう、意思決定能力の評価、人的・物理的環境の整備、認知機能に応じた配慮ができる。
5. 地域包括ケアシステムにおいて、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしてケアサービス推進の役割を果たすことができる。
6. 認知症看護の実践を通して役割モデルを示し、看護職への指導を行うことができる。
7. 認知症看護分野において、看護職等に対し、相談対応・支援を行うことができる。

## IV. コアとなる知識・技術

1. 認知機能障害及び身体症状をアセスメントし、認知症の行動・心理症状（BPSD）及びせん妄の予防と緩和を含めた症状マネジメントができる知識・技術
2. 認知症の病期に応じたコミュニケーション障害に対して、適切なコミュニケーション手段を提案できる知識・技術
3. 認知症の人の特性を踏まえた意思決定支援ができる知識・技術
4. 認知症に関わる保健医療福祉制度に精通し、多職種や市町村等と連携し、協働できる知識・技術
5. 生活機能の評価し、認知症の人の生活拡充に向けた支援及び生活・療養環境調整ができる知識・技術
6. 介護状況と家族関係をアセスメントし、認知症の人の家族への心理的・社会的支援ができる知識・技術
7. 身体所見から病態を判断し、抗けいれん剤の臨時的投与、抗精神病薬の臨時的投与及び抗不安薬の臨時的投与ができる知識・技術

## V. 開講期間及び開講場所

### 1. 開講期間

2022年6月1日(水)～2023年2月28日(火)

週5日(月～金)開講

### 2. 開講場所

獨協医科大学 教育医療棟7階 シミュレーション講義室2

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880 獨協医科大学SDセンター

認知症看護認定看護師教育課程 TEL 0282-87-2494

FAX 0282-87-2025

E-mail sd3@dokkyomed.ac.jp

## VI. 認知症看護認定看護師教育課程入学試験実施要項

### 1. 募集分野及び定員

分野名：認知症看護(特定行為を組み込んでいる教育課程)、定員：30名

### 2. 出願資格

次の要件すべてを満たしていること

- 1) 日本国の看護師免許を有すること。
- 2) 日本国の看護師免許を取得後、通算5年以上<sup>(注1)</sup>の実務研修<sup>(注2)</sup>を行った者。
- 3) そのうち通算3年以上<sup>(注3)</sup>認知症の人の多い医療・福祉施設(在宅ケア領域を含む)等での看護実績を有すること。
- 4) 認知症の人の看護を5例以上担当した実績を有すること。
- 5) 現在、認知症の人の多い医療・福祉施設(在宅ケア領域を含む)等で認知症の人の看護実践に携わっていることが望ましい。

(注1) 2022年3月末の時点で、看護実務研修が60ヵ月以上であること。

(注2) 実務研修とは、実際に勤務し看護実務を経験したことを指す。

(注3) 2022年3月末の時点で、当該分野の看護実務経験が36ヵ月以上であること。

但し、勤務形態が常勤でない場合には、5,400時間(7.5時間×20日×36ヵ月)以上の看護実務経験をもって通算3年以上とみなす。

### 3. 出願手続き

#### 1) 出願期間

2021年12月6日(月)から2022年1月6日(木) 必着

出願書類一式を出願期間内に必ず簡易書留で郵送してください。

封筒に「認知症看護認定看護師教育課程 出願書類在中」と朱書きで明記してください。

## 2) 出願の方法

- (1) ホームページ (<http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-m/ine/nursing.html>) の受験申込画面の申請フォームより、**基本情報の事前登録**を**1月4日(木)**までに必ず送信してください。事前登録されたメールアドレス(PC)に、事前登録確認メールが配信されます。
- (2) 事前登録を完了させて、ホームページの出願書類ダウンロード画面より出願書類をダウンロードしてください。
- (3) ダウンロードした出願書類に必要事項を全て記入し、完成させてください。  
※ 署名および押印箇所以外は、原則パソコンで入力してください。
- (4) 入学検定料を指定の銀行口座に振り込んでください。
- (5) 入学検定料振込金受領証コピーを貼付してください。
- (6) 出願書類一式を「簡易書留」で郵送してください。

## 3) 出願書類の郵送先

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880 獨協医科大学 SD センター  
認知症看護認定看護師教育課程担当 TEL 0282-87-2494

## 4) 出願書類

- (1) 入学願書 (様式 1)
- (2) 履歴書 (様式 2)
- (3) 実務研修報告書 (様式 3)
- (4) 勤務証明書 (様式 4)  
※現在の勤務場所で、看護実務経験通算 5 年以上、認知症看護実務経験通算 3 年以上を満たす場合はその勤務証明だけで結構です。満たさない場合は、要件を満たすようにその前の勤務証明書も必要となります。
- (5) 推薦書 (様式 5)  
※ 推薦書の提出が難しい場合は、ご相談ください。
- (6) 志望理由書 (様式 6)
- (7) 事例要約書 (様式 7-1、7-2)
- (8) 緊急連絡先 (様式 8)
- (9) 受験票及び写真票 (写真サイズ 縦 4cm×横 3cm) (様式 9)
- (10) 入学検定料振込金受領証のコピー貼付書 (様式 10)
- (11) 特定行為の実習協力施設の確認 (様式 11)
- (12) 看護師免許の写し 1 部 ※ A4 判に縮小コピー
- (13) 受験票返信用封筒 (長形3号 120 mm×235mm) を各自用意し、受験者の住所・氏名を明記し、簡易書留料金 404円の切手を貼付したもの。

## 5) 入学検定料

入学検定料 50,000 円

入学検定料は、銀行窓口から下記の口座に振り込み、受領証のコピーを出願書類とともに郵送してください。振込手数料は各自がご負担ください。

取扱銀行の収納印をもって領収証としますので、大切に保管してください。

<振込先>

足利銀行 おもちゃのまち支店 普通預金 口座番号：40784

口座名義：どつきょうい かだいがく 獨協医科大学

#### 6) 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受理できません。  
別紙「出願書類の記入上の注意」をよく読んで記入してください。
- (2) 出願書類の記載内容が事実と相違する場合は、受講許可後でも許可を取り消す場合があります。
- (3) 出願に関して不明な点は、メールでご連絡ください。(sd3@dokkyomed.ac.jp)
- (4) 一度受理した出願書類及び入学検定料は一切返還しません。

#### 7) 受験票の送付

- (1) 提出書類一式を審査し、出願資格が認められた方に、受験票を郵送します。  
入学試験1週間前までに受験票が届かない場合は、認知症看護認定看護師教育課程 担当まで問い合わせてください。
- (2) 入学試験時には受験票を必ず携帯してください。

#### 4. 入学試験等の個人情報について

出願にあたり提出いただいた氏名、住所等の個人情報は、認知症看護認定看護師入学試験、合格発表、入学手続きなど、これらに付随する業務においてのみ利用し、それ以外の目的では利用いたしません。

#### 5. 注意事項

- 1) 出願に際しては、受講期間を通して皆勤できるかをご検討ください。
- 2) 教育課程の修了要件として以下の条件があります。
  - (1) 各教科目（講義、演習、実習）の履修すべき時間数の5分の4以上出席し試験に合格する。
  - (2) 修了試験に合格する。
  - (3) その他  
講義・演習以外で予習復習、レポート作成、テスト準備、グループワーク等で時間を多く使用する必要があります。健康に不安のある方、介護や世話を必要とするご家族がある方等は、開講期間を通して皆勤でき、勉学に必要な時間を確保することができるかを十分ご検討ください。

#### 6. 試験日程・試験内容・会場

- 1) 試験科目
  - (1) 筆記試験
    - ①専門科目Ⅰ 認知症看護領域問題（選択式問題）
    - ②専門科目Ⅱ 認知症の人とその家族のアセスメント及び看護援助実践力を問う状況設定問題および小論文（論述式問題）
  - (2) 面接試験  
出願書類、筆記試験及び面接試験を総合し、入試委員会での選考を経て入学者を決定します。

## 2) 試験日程及び実施時間

(1) 実施日 : **2022年1月17日(月)**

(2) 受付 : 8:30~9:00までに受付し試験会場に入室してください。

試験日	内容	時間
<b>2022年</b> <b>1月17日</b>	受付	8:30 ~ 9:00
	オリエンテーション	9:00 ~ 9:15
	筆記試験 専門科目Ⅰ	9:30 ~ 10:30
	筆記試験 専門科目Ⅱ	10:50 ~ 11:50
	面接試験	13:00 ~ 17:00 (予定)

## 3) 試験会場

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

獨協医科大学 教育医療棟 7階 シミュレーション講義室2

TEL 0282-87-2494 (大学病院 外来駐車場をご利用ください。)

## 4) 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、受験票及び筆記用具を必ず持参してください。
- (2) 試験開始後の遅刻者は、原則として、受験を許可しません。
- (3) 試験会場では、自分の受験番号と同番号の机上票の貼付された席につき、受験票を机上票の手前に置いてください。
- (4) 試験時間中に使用するものは、鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム、時計(アラーム機能のないもの)に限ります。
- (5) 試験会場内での携帯電話の使用は一切認めません。
- (6) 試験当日は、各自昼食を持参してください。

## 7. 合格発表

### 1) 発表日時

**2022年2月21日(月) 14時**

### 2) 発表方法

- (1) 試験を受験した方全員に合否結果を郵送で通知します。
- (2) 獨協医科大学SDセンターホームページに合格者の番号を掲示します。

(<http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-m/ine/nursing.html>)

※合否結果に関する電話等での問い合わせには一切応じません。

### 3) 請求により本人に開示される試験成績

- (1) 開示内容: 筆記試験の点数のみ開示します。
- (2) 開示請求者: 受験者本人に限ります。
- (3) 開示手続: 請求にあたっては受験票と本人であることを証明できるものを提示してください。
- (4) 開示期間: 合格発表日から原則として7日以内とします。
- (5) 開示場所: 獨協医科大学SDセンター 教育医療棟 5階

## 8. 入学手続き

合格者は、次の期間に入学手続きを完了してください。入学手続きに関する詳細及び必要書類等は合格通知に同封します。

### 1) 手続き期間

2022年2月22日(火)～2022年3月4日(金)

### 2) 受講料等

(1) 入学金：50,000円

(2) 受講料：840,000円

(3) 教材費：60,000円

(4) その他の経費：傷害保険加入費用、受講期間中(講義・演習・実習中)の交通費、宿泊費及び住居費等は別途個人負担です。

なお、納入された受講料等は原則として返還いたしません。

## VII. 資格の取得

教育課程修了者は、公益社団法人日本看護協会が実施する認定看護師認定審査「認知症看護」分野を受験する資格が得られます。

また、厚生労働省の特定行為研修修了書が授与されます。

## VIII. 認知症看護認定看護師教育課程 (特定行為を組み込んでいる教育課程)

### 1. 教科目一覧 合計 797 時間

共通科目 380 時間		認定看護分野専門科目 195 時間		演習・実習 165 時間	
1.臨床病態生理学	40	1.認知症看護概論	30	1.統合演習	15
2.臨床推論	45	2.認知症の病態生理・臨床診断・治療	45	2.臨地実習	150
臨床推論:医療面接	15	3.認知症看護における倫理	15		
3.フィジカルアセスメント:基礎	30	4.認知症の人とのコミュニケーション	15		
フィジカルアセスメント:応用	30	5.認知症の人のケアマネジメント	45		
4.臨床薬理学:薬物動態	15	6.認知症の人の生活機能の評価と支援	30		
5.臨床薬理学:薬理作用	15	7.認知症の人の家族支援	15		
6.臨床薬理学:薬物治療管理	30				
7.疾病・臨床病態概論	40	特定行為研修区分別科目 57 時間			
疾病・臨床病態概論:状況別	15	1.栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	22		
8.医療安全学:医療倫理	15	2.精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	35		
9.医療安全学:医療安全管理	15				
10.チーム医療論(特定行為実践)	15				
11.特定行為実践	15				
12.指導	15				
13.相談	15				
14.看護管理	15				

アンダーラインは、特定行為研修科目になります。

## 2. 授業時間

- (1) 講義・演習
  - 1 時限 9 時 20 分～10 時 50 分
  - 2 時限 11 時 00 分～12 時 30 分
  - 3 時限 13 時 20 分～14 時 50 分
  - 4 時限 15 時 00 分～16 時 30 分
  - 5 時限 16 時 40 分～18 時 10 分
- (2) e-learning
  - 1 時限 9 時 00 分～10 時 00 分
  - 2 時限 10 時 10 分～11 時 10 分
  - 3 時限 11 時 20 分～12 時 20 分
  - 4 時限 13 時 20 分～14 時 20 分
  - 5 時限 14 時 30 分～15 時 30 分
  - 6 時限 15 時 40 分～16 時 40 分
  - 7 時限 16 時 50 分～17 時 50 分
- (3) 臨地実習 8 時 30 分～16 時 30 分（開始時間は実習施設の日勤の時間により変更する）

## IX お知らせ

### 1. 職業実践力育成プログラム（BP）に認定されました。（令和 2 年 12 月 2 日 公示）

職業実践力育成プログラム（BP）は、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム（BP）」として文部科学大臣が認定するものです。

### 2. 教育訓練給付制度に指定されました。（指定期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）は、労働者の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

なお、給付を受ける場合、受講開始 1 か月前までに、受講者本人がハローワークに申請する必要があります。詳細は、厚生労働省のホームページでご確認ください。

※ 教育訓練給付制度（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

※ 専門実践教育訓練給付金、教育訓練支援給付金についてのリーフレット

<https://www.mhlw.go.jp/content/000571214.pdf>